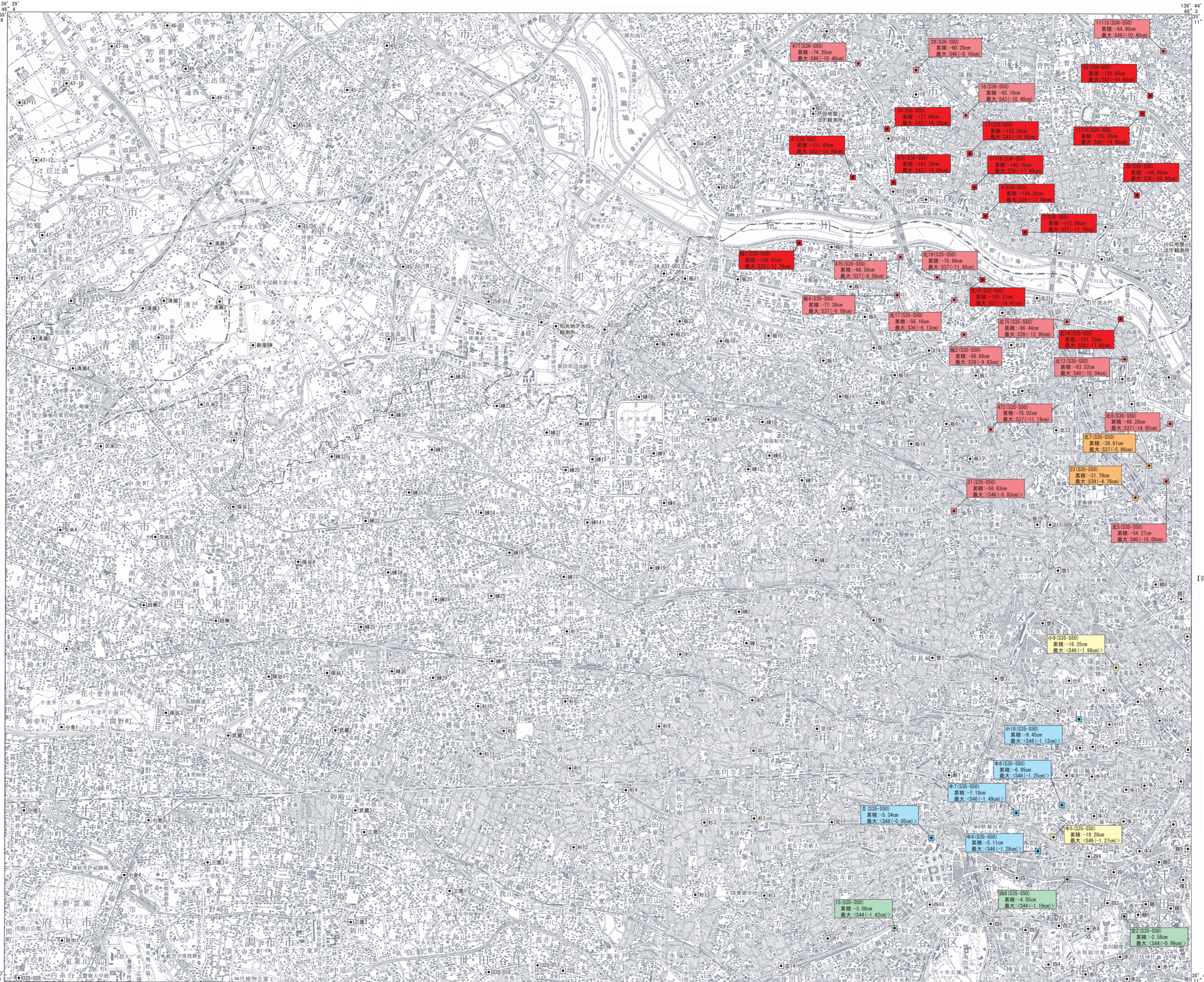


平成二十二年
度調査

平成二十三年
二月発行
国土交通省土地・水資源局



凡例

1. 地盤沈下

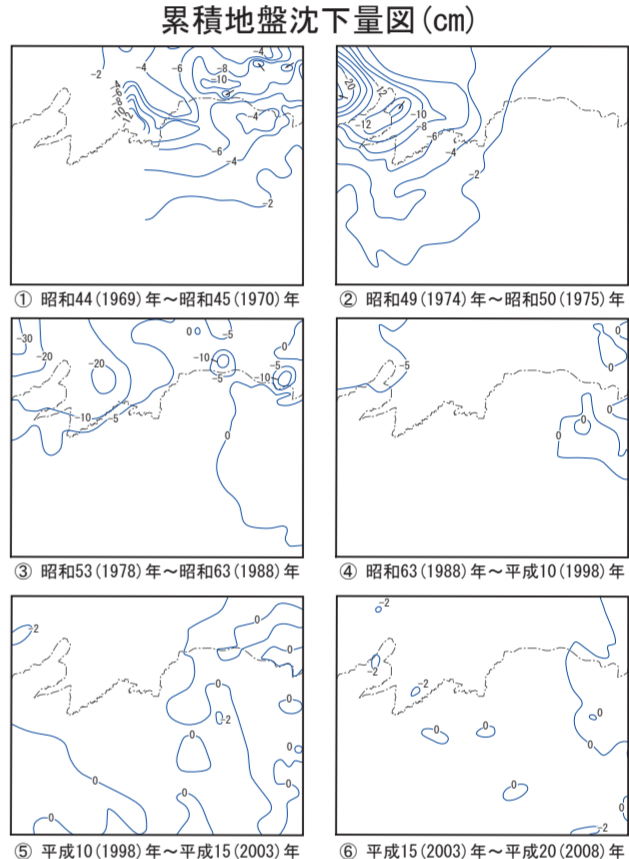
①(②)	累積 ③cm 最大 ④(⑤cm)	累積沈下量(cm)
■	① -100cm以上	■
■	② -50~-100cm	■
■	③ -25~-50cm	■
■	④ -10~-25cm	■
■	⑤ -5~-10cm	■
■	⑥ 0~-5cm	■
■	⑦ 0cm未満	■

① 水準点・水準基準番号
② 集計期間
③ 集計期間の累積沈下量(単位:cm)
④ 集計期間の最大沈下量(単位:cm)
⑤ 集計期間の最大沈下年
⑥ 集計期間の最大沈下量(単位:cm)

○ 集計対象外とした水準点・水準基準
— 水準点・水準基準管理境界

【資料】
埼玉県(1977) 埼玉県地盤沈下調査報告書 昭和51年度観測成果。
埼玉県(2010) 埼玉県地盤沈下調査報告書 平成22年度観測成果、付図、水準基準配置図。
東京都土木技術研究所(1960~1975) 水準基準測量成果表(昭和34年度~昭和49年度)。
東京都土木技術支援・人材育成センター(2010) 東京都公共基準点・水準基準配置図、第4版。

【注】
集計期間中に移転・改定があった水準点・水準基準および集計開始年に観測がされていない水準点・水準基準は集計対象外とした。
水準点・水準基準位置は現在の配点図を用いた。
現在の配点図にない水準点・水準基準は削除した。
集計期間中にデータ欠損があった地点の最大沈下量及び沈下年は○をつけて表示した。



【資料】
関東地区地盤沈下調査協議会(1970) 地盤沈下等量線図、自昭和44年2月1日至昭和45年2月1日。
同協議会(1975) 地盤沈下等量線図、自昭和49年1月1日至昭和50年1月1日。
同協議会(1996) 累積地盤沈下量図、自昭和53年1月1日至昭和63年1月1日。
同協議会(2000) 累積地盤沈下量図、自昭和63年1月1日至平成10年1月1日。
同協議会(2003) 累積地盤沈下量図、平成10年1月1日至平成15年1月1日。日本地図センター。
同協議会(2008) 累積地盤沈下量図、平成15年1月1日至平成20年1月1日。日本地図センター。

- 摘要**
- 経緯度の基準は世界測地系
 - 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
 - 作業機関 東京カートグラフィック株式会社
 - 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成15年修正
 - 対応する二次メッシュコード 533944,533945,533954,533955

行政区画

索引図

川越	大宮	野田
青梅	東京北部	
八王子	東京西南部	東京東南部

()内は所属20万分1地勢図名

- 埼玉県**
- 入間郡
 - 所沢市
 - 新座市
 - 富士見市
 - 志木市
 - 朝霞市
 - さいたま市
 - 和光市
 - 戸田市
 - 蕨市
 - 川口市
 - 鳩ヶ谷市
- 東京都**
- 清瀬市
 - 東村山市
 - 東久留米市
 - 小平市
 - 西東京市
 - 小金井市
 - 府中市
 - 瑞穂市
 - 武蔵野市
 - 三鷹市
 - 練馬区
 - 杉並区
 - 世田谷区
 - 板橋区
 - 北区
 - 足立区
 - 中野区
 - 豊島区
 - 文京区
 - 新宿区
 - 渋谷区
 - 港区
 - 千代田区

この地図の作成にあたっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平成22業使、第703号)